



# 埜町営住宅入居申込書

埜町長様		平成 年 月 日		希望団地名		
埜町営住宅の入居の申込みをいたします。						
住所		電話				
氏名		④ ( 歳)				
①入居する世帯員 ( 人)						
世帯構成	続柄	氏名	年齢	職業	月収	勤務先
②現在は別居しているが実際に入居する世帯員 ( 人)						
員欄	続柄	氏名	年齢	職業	月収	勤務先
※月収欄	この欄には、入居する世帯員の収入の合計額④と扶養親族の数⑤と扶養親族1人につき円を控除した残額⑥を記入。(※印の欄は、記入しないこと。)					
	A ( 円) - 円×⑤ ( 人) =⑥ ( 円)					
主たる収入者の勤務先、所在地						
勤務先		所在地				

実態調査状況欄		受理	審査

申込者 \_\_\_\_\_ は当所に勤務し、次のとおり相違ないことを証明する。

申込の月の前月より過去1ヵ年分 (※印の欄は、記入しないこと。)

給料	円	勤務地 _____ 職種 _____ 所在地 _____ 名称 _____ 電話 ( ) - _____
扶養手当	円	
超勤手当	円	
賞与	円	
その他	円	
合計	円	
※基礎控除	円	
所得控除額		
所得金額		
※差引支給額	円	(使用者) 氏名 _____ ④

## 現住所案内図

もよりの交通機関から申込者の現住所に至る案内図を記入してください。

## 困窮事項申告欄

### 1 不良住宅 (住宅の不完全なことについて。)

1 申込者の住宅は、下の欄のどの項目に該当しますか。(該当する項目の符号を○でかこんでください。)

ア	住宅が倒壊するおそれがありその他危険な状態にある。
イ	バラック建住宅 (応急的な仮設住宅で使用材料の粗悪で極めて低質な建物をいう。)
ウ	転用住宅 (倉庫物置等住宅以外の建物を転用している住宅をいう。)
エ	上記のいずれにも該当しない。

### 2 生活上著しく不便 (生活上設備の不便なことについて。)

申込者の使用している炊事場、便所、給水の3設備は、専用のものですか。共同使用のものですか。  
(右の欄の該当する項目の符号を○でかこんでください。)

ア	炊事場、便所、給水の3設備とも共用である。
イ	上記の3設備のうち2設備が共用である。
ウ	上記3設備のうち1設備のみ共用である。
エ	上記のいずれにも該当しない。

### 3 別居 (住宅がないため、別居していることについて。)

申込者と同一の生計をいとなむ必要があるが住宅がないために別居している人がある場合又は婚姻予約者のある場合には、右の欄の該当する項目の符号を○でかこんでください。

ア	住居がないため妻若しくは夫又は子と別居している。
イ	住宅がないため扶養を要する親又は弟妹と別居している。
ウ	婚約が成立しているが、住宅がないため結婚できない。
エ	上記のいずれにも該当しない。

[注意] この項目に該当する場合は、この申込書第1ページの世帯構成欄の②「現在は別居しているが実際に同居する世帯員」の項に別居者の氏名等を記入してください。

### 4 過密居住 (住居のせまいことについて。)

現に居住している部屋は、何室ですか。  
(該当する欄を○でかこんでください。)

1 室      2 室      3室以上

現在の世帯人員は何人ですか。

\_\_\_\_\_ 人

畳数の合計は何畳ですか。(板の間の部屋は、畳数になおして合計してください。家具などの多少は、関係ありません。)

\_\_\_\_\_ 畳

上記の計算の結果、下欄のどの項目に該当しますか。該当する項目の符号を○でかこんで下さい。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1人当たり	1人当たり	1人当たり	1人当たり 2.0畳をこえているが、15歳以上の者が3人以上で1室居住	1人当たり 2.0畳をこえているが、15歳未満の者を含む3人以上で1室居住	左記のいずれにも該当しない。
1.3畳以内	1.6畳以内	2.0畳以内			

### 5 立退要求 (明け渡しを請求されていることについて。)

申込者が現に居住している住居について立退問題がある場合は、それが下欄のどの項目に該当しておりますか。  
(該当する項目の符号を○でかこんでください。)  
下の欄の⑦と⑧は立退問題が裁判上 (または簡易裁判所における調停事件として) のあらそいになっている場合に限りですから注意してください。

ア	裁判上の判決、和解又は調停の成立により明け渡しが決定済
イ	停年退職、会社解散等自己の都合以外の理由により社宅等から立ち退く必要がある。
ウ	立退問題につき裁判等係争中
エ	立退き要求されている。
オ	上記のいずれにも該当しない。

裁判のあった日または和解、調停の成立した日	年 月 日
会社等所在地	
会社等の名称	
停年退職、会社解散等の年月日	年 月 日
管轄の裁判所名	裁判所
立退要求の内容	
上記に対してとろうとしている措置	

### 6 遠距離通勤 (通勤時間について。)

世帯の主たる収入者の通勤時間又は、利用交通機関は、右の欄のどの項目に該当しますか。  
(該当する項目の符号を○でかこんでください。)  
通勤時間とは、徒歩、乗物をあわせた通常の方法による平均所要時間をさします。  
「交通機関」とは、鉄道、軌道、一般乗合旅客自動車、船舶その他これらに類する施設で、運賃を徴収して交通の用に供するものをいう。

ア	通常の通勤方法による片道の通勤時間が2時間以上である。
イ	通常の通勤方法による片道の通勤時間が1時間以上2時間未満で片道の利用交通機関の種類が2以上である。
ウ	通常の通勤方法による片道の通勤時間が1時間以上2時間未満である。
エ	上記のいずれにも該当しない。

### 7 過大住居費 (家賃のたかいことについて。)

現に居住している住宅の家賃又は間代は、右の欄のどの項目に該当しますか。  
(該当する項目の符号を○でかこんでください。)

	第一種住宅入居申込者	第二種住宅入居申込者
ア	毎月の家賃が25,000円以上である。	毎月の家賃が25,000円以上である。
イ	〃 15,000円以上25,000円未満である。	〃 15,000円以上25,000円未満である。
ウ	〃 5,000円以上15,000円未満である。	〃 5,000円以上15,000円未満である。
エ	〃 5,000円未満である。	〃 5,000円未満である。

### 8 町営住宅の入居申込回数

町営住宅の入居について過去に何回申し込まれましたか。  
右の欄の符号を○でかこんでください。

ア	イ	ウ	エ
3回以上	2 回	1 回	今回はじめて

### 9 特殊事情者

申込者及びその親族に被爆者健康手帳所持者がある場合又は申込者が炭鉱離職者求職手帳所持者の場合は、右に記入してください。

	氏 名	年 齢	職 業	手帳番号
被爆者				
炭 鉱 離職者				

### 誓 約 書

- この申込書に記入した事項は、すべて事実と相違ないことを誓約します。
- この申込書に虚偽の事実を記載した場合は町営住宅入居申込みの無効処分又は入居決定の取消処分をされても異議ありません。

平成 年 月 日

氏 名

㊟